

令和3年度事業報告

項 目	内 容
電話・面接相談	<ul style="list-style-type: none"> ○ 電話相談 犯罪等の被害者及びその家族又は遺族（以下「犯罪被害者等」という。）からの相談を職員又は被害者支援ボランティアが専用電話（0120-43-0874）等で受理し対応した。 ○ 面接相談 面接相談を希望し又は電話相談の結果、面接相談が必要と認められる犯罪被害者等に対して、職員等がセンター面接相談室などで面接し対応した。 ○ 電話・面接相談の受理状況 受理総数 146件（相談実人数 44名） 相談手段～電話112件、面接30件、文書3件、メール1件 居住地域～東部80件、中部21件、西部32件、県外13件 主な内容～性犯罪、ストーカー、交通事故、その他 <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <ul style="list-style-type: none"> ○ カウンセリング及び医療的措置の支援 メンタルケアを必要とする犯罪被害者等に専門家（精神科医、臨床心理士）を紹介した。 <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <ul style="list-style-type: none"> ○ 法的救済支援 法律専門家による相談が必要と認められる犯罪被害者等に対して、協力弁護士を紹介した。（3件）
直接的支援	<ul style="list-style-type: none"> ○ 役務の提供等 犯罪被害者等の精神的負担の軽減を目的として、その要望に応じて付添い、送迎等の支援を行った。 支援実施総数 14件（支援実人数 5名） 警察付添 3件、弁護士事務所付添 3件、裁判所付添 1件 送迎等 7件 <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <ul style="list-style-type: none"> ○ 緊急避難場所の提供 3件
犯罪被害者等給付金申請補助	<ul style="list-style-type: none"> ○ 犯罪被害者等給付金の申請補助 なし
自助グループに対する支援	<ul style="list-style-type: none"> ○ 場所提供等 犯罪被害者自助グループ「なごみの会」に対し、定例集会時の会場準備、資料・情報提供等の支援を行った。（3回） ○ 「いのちのパネル展」の支援 「なごみの会」が市役所、講演会場、警察施設等で開催する「いのちのパネル展」の設置準備等の支援を行った。（8回） ○ 講演会における支援 依頼のあった地域人権研修会での講演（2回）
広報・啓発活動	<ul style="list-style-type: none"> ○ 講演会等の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「被害者支援を考える公開講座」を開催

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 6月16日 倉吉未来中心セミナールーム（参加者25名）において、県外講師によるリモート講演を行い、県下全市町村の犯罪被害者等支援条例制定への促進に向けた市町村担当者を含めた支援従事者を対象にした講演会を行った。 ・ 11月22日「鳥取県被害者支援フォーラム」（とりぎん文化会館小ホール）は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催を中止した。 ・ 1月26日「被害者支援を考える講演会」（とりぎん文化会館）の開催準備に取り掛かっていたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催を延期した。 ・ 「命の大切さを学ぶ教室」を開催 5回5校実施（高校3校、中学校2校） リモート講演も取り入れ、犯罪被害者ご遺族の講演を通じ中高生等に対して命の大切さの意識高揚を図った。 ○ ホームページによる広報活動の推進 ホームページを更新することにより、支援センターの組織体制、業務の内容、活動状況、相談窓口の案内、新着情報等をタイムリーに掲示できるよう改善し、支援センターの利用を広報した。 ○ 機関紙「センターだより」の発行（2回） センターだより第25号（7月）、26号（2月）を発行し、関係機関、賛助会員等へ送付し、センターの事業活動を報告するとともに協力を呼び掛けた。 ○ 街頭広報の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 11月の犯罪被害者週間に併せてJR鳥取駅、日吉津村内及び倉吉市内のショッピングセンターにおいて、県、警察、センター役員、ボランティアが参加して、犯罪被害者支援への協力を呼び掛けた。（4回） ・ 鳥取警察署主催の「被害者支援チャリティーバザーinイオンモール鳥取北」に協働して広報した。（11月27日） ○ 被害者支援講演会等の実施 被害者支援に関する意識の高揚・啓発を推進するため、各関係機関等の研修等に出向き、講演活動を行った。（12回） ○ センター認知度アップを図ることを目的とする鳥取県協働提案連携推進事業（「涙のち 晴れ」プロジェクト）を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・ オリジナル映像、オリジナル楽曲の制作、テレビCMでの放映（18回）、YouTubeやSNSなどを活用して発信。 ・ ポスター（200枚）、チラシ（2,000枚）、啓発用グッズ（ウェットティッシュ2,000個）を作成し県、警察等と協働して広報活用した。
関係機関・団体等との連携	<ul style="list-style-type: none"> ○ 県外研修会等への参加 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため「全国被害者支援ネットワーク」等が主催する会議やフォーラムにリモートで参加した。中国四国ブロックの会議・研修会は中止になった。 ○ 県内の関係機関との連携強化 被害者支援に係わる警察及び行政機関の会議、研修会等へ出席し意見交換を行うとともに連携等について協議を行った。
被害者支援ボランティアの養成、研	<ul style="list-style-type: none"> ○ 募集活動 「涙のち 晴れ」プロジェクトのオリジナル映像を活用してテ

修	<p>テレビCM用動画を制作し、テレビCMでの放映（18回）、新聞広告の掲載（3回）、チラシ（500枚）を作成しボランティアの募集活動を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 被害者支援ボランティアを2名採用した。 4名の応募者があり、昨年度の応募者1名を加えて採用時養成講座を5回に亘って実施し、最終的に2名を採用した。 ○ 継続研修でスキルアップを図った。 <ul style="list-style-type: none"> ・ センター主催研修 3回実施（延べ21名参加） ・ 電話相談の待機時間を利用したDVD教材等による自主学習に取り組んだ。 																
財政・体制強化の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○ ファンドレイジング活動の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 全国犯罪被害者支援ネットワークの「ホンデリング・プロジェクト」に参加し、不要本の売却金を寄付していただく活動を実施した。 ・ 「イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン」に参加し、毎月11日にレシート投函を呼び掛けてレシート金額の1%を寄付していただく活動を実施した。 ・ 鳥取県共同募金会のつかいみちを選べる募金助成事業（1月～3月末）に参加し、募金活動を実施した。 ・ 「有限会社 SUNABACOMPANY」様と「有限会社 亀井堂」様のご協力により寄付型商品（犯罪被害者支援商品）の販売売上の一部を寄付していただく活動を実施した。 ・ 賛助会員の維持・拡大と寄付型自動販売機、募金箱の設置拡充に取り組んだ。 <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>寄付型自動販売機</td> <td>63台</td> <td>（前年度</td> <td>61台）</td> </tr> <tr> <td>募金箱</td> <td>192か所</td> <td>（前年度</td> <td>198か所）</td> </tr> <tr> <td>寄付</td> <td>団体 155団体</td> <td>（前年度</td> <td>183団体）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>個人 341名</td> <td>（前年度</td> <td>368名）</td> </tr> </table> 	寄付型自動販売機	63台	（前年度	61台）	募金箱	192か所	（前年度	198か所）	寄付	団体 155団体	（前年度	183団体）		個人 341名	（前年度	368名）
寄付型自動販売機	63台	（前年度	61台）														
募金箱	192か所	（前年度	198か所）														
寄付	団体 155団体	（前年度	183団体）														
	個人 341名	（前年度	368名）														
組織の運営体制	<ul style="list-style-type: none"> ○ 正会員数：23名 団体 17団体（前年度 18団体） 個人 6名（前年度 8名） ○ 賛助会員数 団体 82団体（前年度 82団体） 個人 169名（前年度 166名） ○ 職員数 常勤職員：2名（事務局） 非常勤職員：3名 ・ 事務局：1名（経理担当） ・ 西部相談所：2名 臨時職員：1名 ○ 支援活動員（ボランティア）登録数 33名 																

令和3年度鳥取県性暴力被害者支援協議会 事業報告

1 事業

(1) 性暴力被害者支援事業

ア 令和3年度支援活動

性暴力被害者支援センターとっとり（クローバーとっとり）

- ・令和3年度登録支援員：40名（令和3年4月） ⇒ 49名（令和3年11月から）
- ・相談窓口対応
 令和3年9月30日まで：月～金 10：00～16：00 月・水・金 18：00～20：00
 令和3年10月1日から：月～金 10：00～18：00 月・水・金 18：00～20：00
 ＊令和3年10月1日から内閣府コールセンターを活用し、365日24時間の相談対応開始
 電話窓口開設日数 313日
 （支援員活動延べ人数 921人、事務局対応延べ回数 452回）

イ 令和3年度性暴力被害者への対応（被害状況別）

被害状況	件数	対応（支援状況）
強制的性交等罪	32%	電話相談、面接、付添支援、医療的支援、法的支援
強制わいせつ	28%	電話相談、面接、付添支援、法律相談、医療的支援
性虐待	5%	電話相談、面接、付添支援
DV	10%	電話相談、面接 付添支援、法律相談
セクハラ	0%	
その他・不明	25%	電話相談 面接

〔属性・対応（支援）状況内訳〕

(ア) 被害者性別

女性	男性	不明
89%	5%	6%

(イ) 年代別

①相談時の年齢

13歳未満	13歳～19歳	20代	30代	40代	50代	60代以上	不明
10%	29%	11%	16%	14%	3%	5%	12%

②被害年齢

13歳未満	13歳～19歳	20代	30代	40代	50代	60代以上	不定期	不明
14%	27%	13%	11%	11%	4%	3%	3%	14%

(ウ) 地域別

①現在の居住地

東部	中部	西部	県外	不明
33%	6%	40%	5%	16%

②被害発生地域

東部	中部	西部	県外	不明
32%	6%	40%	6%	16%

(エ) 期別

急性期	中長期	不明
46%	29%	25%

*急性期は被害発生から6か月以内

(オ) 対応（支援）状況別

支援内容	延べ件数	備考
(1) 電話相談	4 6 4 件	
(2) 面接相談	9 6 件	
(3) LINE 相談		安全性が確保されないため行わず
(4) 直接支援（付添支援、産婦人科医療、精神科医療、カウンセリング支援、法律相談等）	1 1 8 件	
計	6 7 8 件	

(カ) コールセンター対応（令和3年10月1日～令和4年3月31日）

総受電件数	2 5 件（相談受電件数 2 3 件、相談外受電件数 2 件）
-------	---------------------------------

(2) 啓発・支援員研修等事業

ア 支援活動カンファレンス

時 期	事 業 概 要
令和3年4月24日(土) 13:30～16:00	<p>■第1回支援活動カンファレンス 新年度の取り組みについて 「性の権利について学ぶ学習会」について 会場：新日本海新聞社中部本社ホール 参加者：23名</p>
令和3年6月26日(土) 10:30～12:10（西部） 15:30～17:10（東部）	<p>■第2回支援活動カンファレンス ○内容 ・相談・支援状況 ・事例検討 ○会場：西部 消費生活センター多目的室 東部 ふれあい会館 ○参加者：18名</p>
令和3年9月11日(土)	<p>■第3回支援活動カンファレンス 新型コロナ感染防止のため中止（特措法第24条第9項に基づく協力要請による）</p>
令和3年10月30日(土) 13:00～15:00	<p>■第4回支援活動カンファレンス ○内容：新しい支援員を迎えて 24時間365日体制について 相談状況 ○会場：倉吉未来中心セミナールーム1 ○参加者：24名</p>
令和4年3月12日(土) 13:00～15:30	<p>■第5回支援活動カンファレンス ○内容：事例検討 1年のふりかえりワーク セルフケア ○講師 長谷川理恵 ○会場：エキパル倉吉多目的ホール ○参加者：20名</p>

イ 支援員研修

令和3年12月19日(日) 10:00～16:00	<p>■支援員研修 ○内容：支援員の役割、ポイント・留意点など 直接支援ロールプレイ ○講師：原田薫氏（ウィメンズセンター大阪代表） ○会場：エキパル倉吉多目的ホール ○参加者：11名</p>
------------------------------	---

令和4年1月9日(日) 13:00~15:00	■支援員研修 ○内容:「性的マイノリティの方からの相談があった際のポイント」 ○講師: Broken Rainbow-Japan 岡田実穂さん ○会場: 【東部地区】クローバーとっとり東部相談室 【中部地区】クローバーとっとり中部相談室 【西部地区】米子コンベンションセンター第2会議室 ○参加者:24名
----------------------------	---

ウ 性暴力被害にあわれた方を支援する「支援員養成講座」

令和3年7月10日(土) 10:00~17:05	■第1日目 ○内容: (1) 性暴力被害者をサポートするとは (2) 支援員の基本 (3) 性暴力被害の実態 ○講師:原田薫氏(ウィメンズセンター大阪代表) (4) 性暴力被害者に対する医療的支援 ○講師:片桐千恵子氏(博愛病院/性暴力被害者支援協議会委員) ○会場:倉吉交流プラザ 第1研修室 ○参加者:28名
令和3年7月31日(土) 10:00~16:30	■第2日目 ○内容: (1) 性犯罪被害の現状 ○講師:鳥取県警察本部刑事部捜査第一課 金氏大介氏 (2) インターネットに起因する犯罪被害について ○講師:鳥取県警察本部生活安全部サイバー犯罪対策課 福井貴氏 (3) 性暴力被害者への法的支援 ○講師:北野彬子氏(きたの法律事務所 弁護士/ 性暴力被害者支援協議会副会長) (4) 性暴力被害者に必要な心理的支援 ○講師:今西聡子氏(臨床心理士/性暴力被害者支援協議会委員) ○場所:倉吉未来中心セミナールーム3 ○参加者:24名
令和3年8月21日(土)	■第3日目 新型コロナ感染防止のため延期 (特措法第24条第9項に基づく協力要請による)
令和3年10月2日(土) 10:00~17:00	■第3日目 ○内容:傾聴・電話対応、ケーススタディ ○講師:原田薫氏(ウィメンズセンター大阪代表) ○場所:エキパル倉吉多目的ホール ○参加者:16名
令和3年10月17日(日) 14:00~17:00	■支援員希望者面接 ○場所:倉吉未来中心セミナールーム1
令和3年10月30日(土) 10:30~12:00	■説明会 ○場所:倉吉未来中心セミナールーム1

エ 看護職向け研修会(鳥取県看護協会:主催 鳥取県性暴力被害者支援協議会:共催)

時 期	事 業 概 要
令和4年2月23日(水) 10:00~11:10	■性暴力被害者支援に関する講演会(オンライン) ○内容:性暴力被害者支援について理解を深めるために ~看護職に求められることとは~ ○講師:片岡笑美子氏 (日本フォレンジックヒューマンケアセンター会長) ○対象者:看護師等 ○参加者:25名

オ 公開講座（e・らぼ、鳥取県男女共同参画センター：主催、鳥取県性暴力被害者支援協議会：協力）

時 期	事 業 概 要
令和4年3月5日(土) 13:00~15:30	<p>■聞いてみよう『性』のこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ○講演：「性のことシオリーヌにきいちゃおう」 ○講師：シオリーヌ (大貫詩織氏：性教育ユーチューバー・助産師思春期保健相談士) ○トークセッション シオリーヌ、パパ、ママ、若者 ○サンドアート上映 ○相談先紹介 ○会場：倉吉未来中心小ホール（及びオンライン） ○対象者：一般県民 ○参加者：111名

カ 全国連絡会

時 期	事業概要
令和3年7月3日(土) 14:00~16:30	<p>■性暴力救援センター全国連絡会リモート会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ○参加者2名

キ 他団体主催研修への参加

時 期	事 業 概 要
令和3年6月30日(水)～ 令和4年3月31日(木)	<p>■内閣府主催 令和3年度「性暴力、配偶者暴力等被害者支援のためのオンライン研修」 各相談室にて随時</p>
令和3年 10月1日(金)	<p>■令和3年度性的マイノリティ支援相談員人材育成研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ○講義：「セクマイと法」「パートナーシップ制度の意義」「相談支援のあり方」「セクマイが行きやすい地域づくり」 ○講師：森あいさん（弁護士） ○参加者：5名
10月11日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ○講義：「LGBTの子ども達が直面する課題とは」「カミングアウトのしやすい社会（学校）づくりとは」 ○講師：渡辺大輔さん 埼玉大学准教授 ○参加者：7名
10月22日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ○講義：「学校におけるLGBTの子ども達」「LGBTの子ども達悩みや生きづらさ」 ○講師：土肥いつきさん 京都府立高校教員 ○参加者：7名
11月9日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ○講義：「カミングアウトできない当事者を主眼に置く意味と親の理解について」「居場所づくりと当事者が求めるもの」 ○講師：エディさん（NPO法人レインボープレイド愛媛代表） ○参加者：8名
11月26日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ○講義「LGBT支援活動とスペース運営について」「LGBTに寄り添うためには」 ○講師：マダムボンジュールジャンジさん（NPO法人 akta 理事） ○主催鳥取県人権局人権・同和対策課 ○参加者：8名 *各研修倉吉未来中心あるいは倉吉交流プラザ、またはオンライン
令和3年10月21日(木) 13:30~16:00	<p>■令和3年度相談スキルアップ講座「キーワードは「自分らしさ」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○内容：支援者が元気になる事例検討 ○講師：長谷川理恵さん（Being Prem） ○主催：鳥取県男女共同参画センター ○会場：とりぎん文化会館 ○参加者：1名

令和3年11月20日(土) 9:00~12:00	<p>■シンポジウム（オンライン） 救急&パンデミックにおける性暴力・DV 対応とトラウマインフォームド・ケア</p> <p>○内容：日本における性暴力被害者の急性期対応の課題 講師：精神科医・臨床心理士 小西聖子氏（武蔵野大学教授）</p> <p>○参加者：7名 ○日本福祉大学・日本フォレンジックヒューマンケアセンター共催</p>
令和4年2月8日(火) 14:00~16:00	<p>■第6回子供の性被害防止セミナー（オンライン）</p> <p>○内容：子供の性被害防止に向けた最前線の取り組み 講師：福岡犯罪被害者支援センター 理事長 浦 尚子氏</p> <p>○内容：子供の性被害防止に向けた SNS 事業者団体の取組 講師：一般社団法人ソーシャルメディア利用環境整備機構</p> <p>○内容：子供の性被害防止に向けた警察の取組 講師：兵庫県警察本部</p> <p>○主催：警察庁生活安全局少年課性的搾取対策官室</p> <p>○参加者：10名</p>
令和4年2月9日(水) 14:00~16:00	<p>■令和3年度 内閣府「性犯罪被害者等支援体制整備促進事業」医療関係者研修（オンライン）</p> <p>○内容：医療現場における相談受理後の初動対応について 講師：種部恭子氏（女性クリニック We! TOYAMA 院長）</p> <p>○内容：性暴力被害者支援における医療機関と他機関との連携 講師：萩津 守氏（済生会宇都宮乳児院 院長） 稲見一美氏（済生会宇都宮病院 地域連携課 課長代理）</p> <p>○参加者：3名</p>
令和4年2月28日(月) 10:00~12:00 13:00~14:00	<p>■「令和3年度性犯罪被害者等支援体制整備事業」センター長・コーディネーター研修（オンライン）</p> <p>○講演：円滑な機関連携のための相談員のスキルアップと人材育成 ○講師：性暴力救援センター・大阪 CACHIKO 加藤治子氏</p> <p>○講演民間団体における性犯罪・性暴力被害者支援の取組とつなぎ支援に向けた連携の在り方 ○講師：性暴力被害者支援センター・ひょうご理事 大岡由佳氏</p> <p>■令和3年度内閣府「性犯罪被害者等支援体制整備促進事業」性犯罪・性暴力被害者のためのワンストップ支援センター全国ネットワーク会議（オンライン）</p> <p>○内容：内閣府における性犯罪・性暴力対策の取組について</p> <p>○参加者：3名</p>
令和4年3月10日(木) 13:00~15:30	<p>■令和3年度 内閣府「性犯罪被害者等支援体制整備促進事業」相談員研修（オンライン）</p> <p>○講義：「スーパーバイザーから見る支援現場の問題点」 講師：周藤由美子氏（ウィメンズカウンセリング京都、京都性暴力被害者ワンストップ支援センター京都 SARA スーパーバイザー）</p> <p>○講義：「相談支援職の記録の取り方」およびワークショップ 講師：八木亜紀子氏（アアリエ株式会社 代表取締役、福島県立医科大学放射線医学県民健康管理センター特任准教授）</p> <p>○参加者：7名</p>

(3) 啓発・広報

ア 「性の権利」について学ぶ学習会（令和3年度から鳥取県教育委員会人権教育課と連携）

令和3年7月14日(水)	<p>■倉吉養護学校高等部1年 参加者：13名（生徒9人 教員4人）</p>
令和3年7月16日(金)	<p>■クラーク記念国際高等学校2年生 参加者：46名</p>
令和3年10月21日(木)	<p>■鳥取市立大正小学校 6年生 参加者：31名</p>
令和3年12月23日(木)	<p>■鳥取市立大正小学校学校保健安全委員会 内容：子どものSOSを見のがさない ～子どもをとりまくさまざまな性暴力被害～ 参加者：20名</p>

令和4年2月1日(火)	■鳥取聾学校ひまわり分校(オンライン研修) 参加者:教職員 27名
令和4年2月4日(金)	■北栄町立北条小学校 4年生 参加者:67名
令和4年2月16日(水) 3月16日(水)	■琴の浦特別支援学校1年生 *新型コロナ感染拡大のため、中止

イ 出前講座

令和3年5月18日(火)	■鳥取県男女共同参画推進会議 内容:被害者も加害者も生まないために ～性暴力、性暴力被害者支援を知る～ 参加者:17名 場所:倉吉未来中心セミナールーム1
令和3年6月12日(土)	■とっとり被害者支援センター支援活動員採用時養成講座 内容:性暴力被害者支援について 参加者:受講生3名、担当者3名 場所:はわいアロハホール
令和3年8月17日(火) 8月27日(金) 9月7日(火) 9月17日(金)	■倉吉教育委員会教職員向け研修(オンライン研修) 内容:被害者も加害者も生まないために ～子どもへの性暴力被害、その対応～ 参加者:400名
令和3年9月9日(木)	■鳥取県警性犯罪捜査専科 内容:性犯罪被害に対する支援について 参加者:専科受講生9名、担当者3名 場所:鳥取県警察学校
令和3年9月10日(金)	■鳥取県教育委員会(オンライン研修) 「子どもたちを性暴力から守るために」 内容:クローバーととりの支援について紹介 参加者:36名
令和3年9月28日(火)	■人権と福祉のまちづくり講座 「自分も他者も大切にすること」 ～性暴力の被害者・加害者・傍観者を生まないために～ 参加者:14名 場所:鳥取市国府人権福祉センター
令和3年10月13日(水)	■鳥取市人権教育協議会行政関係部会 人権啓発支援員対象研修会 「性暴力被害について」 ～被害者・加害者・傍観者を生まないために～ 参加者:20名 場所:鳥取市人権交流プラザ

ウ 広報

時 期	事 業 概 要
令和3年7月～	■中高生向けリーフレット配布『NO 性暴力』 ・『性の権利について』の学習実践校配布 ・米子市内中学校 性教育学習において配布(中1:150部 中2:150部) ・県立米子養護学校デートDV学習において配布 20部 ・県内高校生全員配布
令和3年9月10日(金)	■鳥取県教育委員会『子どもを性暴力から守るために～支援のコツ、連携のコツ～』においてクローバーととりの紹介
令和3年10月～	■24時間365日体制によりリーフレット・カード更新作成
令和3年	■保護者向けリーフレット制作 学習会、研修参加者配布等
随時	■リーフレット、パンフレットの配布 とっとり被害者支援センター『いのちの授業』、プロムナードコンサート、デートDV予防学習会及び関係機関の皆様が講師を務められる際に

	配布等
随時	■ステッカーの貼付 トスク株式会社、すなば珈琲等で貼付
随時	HPの更新
随時	Twitter・Facebook・Instagramの更新

エ 寄付

時期	
令和3年8月	小林様
令和3年12月	タイム（とっとり国際交流連絡会）様

2 運 営

(1) 協議会運営事業

内 容	概 要	
協議会の運営	協議会の運営、庶務業務を実施	
	令和3年4月22日（木）	■第1回運営協議会開催 ・令和2年度事業報告及び収支決算報告 ・令和3年度事業計画及び収支予算について
	令和3年5月1日（土）	■中部事務所（相談室）開設 中部事務局職員常駐
	令和3年11月1日（月）	■西部事務局職員採用、勤務 西部に事務局職員の常駐化を図り、関連機関との連携を強化した。

3 他の補助金の活用の有無 （ 有 ・ 無 ）

活用する補助金名	事業内容	問合せ先

※他の補助金の活用の有無について、「有」、「無」のいずれかに○をしてください。

※「有」の場合は、活用する補助金名やその事業内容、当該補助金に係る問合せ先（補助金を所管している部署名や団体名及び連絡先）を記載してください。